創生ジャーナル Human and Society

第 6 巻

2023 年 3 月

巻頭言：創生学部アプローチ　吉田正之　1

特集：地域と観光

【特集序文】特集「地域と観光」の刊行にあたって　並川努　4

【インタビュー報告】雪国観光圏と地域再生
——株式会社いせん 代表取締役 井口智裕氏に聴く——　編集委員会　6

【インタビュー報告】着地型観光と地域連携
——当間高原リゾート・ベルナティオの営業統括本部長と管理部支配人に聴く——　編集委員会　23

【特集論文】2022 年におけるマイクロツーリズムの現状についての探索的検討
——新潟県内在住者を対象とした調査から——　並川努　37

【コラム】地域リソース実践学のすすめ　渡邊洋子　45

【実践報告】「阿賀町子ども未来フォーラム」におけるワークショップデザイン理論からの考察　田中一裕　48

【実践報告】過疎地域における広域自治体連携とデジタルアーカイブ構築
——奥会津デジタルアーカイブ構想の現状と課題——　榎本千賀子・櫻澤孝佑　59

【実践報告】地域社会の課題に関する演習の授業方法の構築と展開
——「地域と観光」のインタビューを踏まえて——　藤巻一男　71

自由投稿論文

【論文】クラウド・ICT 活用で学校を跨いだ英語教師の学びの場を提供する実践的研究
——各学校における ICT 活用の課題や研修ニーズの把握調査より——　阿部雅也　80

【論文】Introducing Task-Based Syllabus Design and Task-Based Language Teaching in Japan　Masaya ABE　89

【論文】高等学校「総合的な探究の時間」における高大連携の意義と課題
——新潟県の公立高校での実践に関わった生徒・高校教員・大学教員に対する意識調査の分析を通して——
小林真也　96

【論文】小学校におけるキャリア教育政策
——「生徒指導提要」改訂との関係から——　犬塚典子　111

投稿規程

編集後記

『創生ジャーナルHuman and Society』編集規程　　2018年2月

1. 本誌は、新潟大学キャリア創生研究会（仮）が発行する自由投稿論文誌であり，1年1巻発行する。
2. 本誌は、主に新潟大学キャリア創生研究会のメンバー、および本誌への掲載を希望する他の創生学部教員の教育･研究に関する未公刊の論文の発表にあてる（注）。
3. 本誌には、特集，自由投稿論文／研究ノート，実践・調査・研究会報告などの欄を設ける。
4. 論文の投稿にあたり，その著者のうち1名は原則として創生学部担当教員であることを要する。ただし，編集委員会が必要と認めた場合は創生学部担当教員以外の投稿も可とする。
5. 本誌に掲載された論文の著作権は新潟大学キャリア創生研究会（仮）に帰属する。ただし，著者個人による利用は，出典を明示すればこれを妨げない。
6. 本誌の編集は編集委員会が行う。
7. 投稿論文は編集委員会が論文の査読を行い，掲載の可否を決定する。
8. 編集委員はキャリア創生研究会において選任する。
9. 編集委員会には委員長1名および編集委員をおく。

（注）未公刊の論文とは，過去に国内外の雑誌または書籍（電子書籍を含む）に掲載されていない論文を指す。国内外の学会における口頭発表，機関リポジトリで電子的に公開した学位論文，および各種研究助成費による研究報告書に掲載された内容を論文化した投稿は可とする。

『創生ジャーナルHuman and Society』執筆要項　　2018年2月

1. 論文は，問題（目的），方法，結果，考察（結論），引用文献からなることを原則とする。ただし，必要に応じて別の形式でも可とする。
2. いずれの論文も刷り上がり20頁以内とする。ただし，編集委員会が認めた場合は，これを超えることも可とする。
3. 原稿には，本文のほか，著者名（所属），標題，要約（日本語500字以内），キーワード（5つ以内）もあわせて記述する。
4. 投稿の際には，そのまま印刷が可能なように作成したファイル（Microsoft Word）を提出する。
5. 原稿はA4判縦置き・横書きとし，本文は2段組で24字×45行，枚数は20頁以内とする。ページの余白は上下25mm，左右20mmとする。
6. 各ページには，ページ番号を記載すること。
7. 投稿論文は常用漢字，現代かなづかいを用い，簡潔，明瞭に記述する。
8. 略語は一般に用いられているものに限る。ただし，必要な場合には初出の時にその旨を明記する。
9. 表と図は必要最小限とし，本文との重複，および図表間の重複は避ける。
10. 表の題はその上部に，図・写真の題は下部に書く。説明文はいずれも下部に記す。
11. 注は原則として脚注とし，通し番号をつける。謝辞や科学研究費などの助成金に関する脚注は，題目につける。
12. 引用文献は論文の最後に，著者名のアルファベット順に一括してあげる。
13. 原稿作成において，本要項に定められていること以外の詳細については，論文の内容や著者の専門領域にあわせていずれかの学会誌の規定に従うこととし，原稿の中で統一させる。

執筆者一覧（掲載順）
吉田 正之（新潟大学）
並川 努（新潟大学）
渡邊 洋子（新潟大学）
田中 一裕（新潟大学）
榎本 千賀子（新潟大学）
櫻澤 孝佑（会津地方振興局・奥会津地域おこし協力隊）
藤巻 一男（新潟大学）
阿部 雅也（新潟青陵大学）
小林 真也（新潟県立新津高等学校）
犬塚 典子（田園調布学園大学）

編集委員（アルファベット順）
堀籠 崇
並川 努
渡邊 洋子

編集後記

『創生ジャーナル Human and Society』の第 6 巻発行に際し，関係各位のご協力とご配慮に感謝申し上げます。第 6 巻では地域と観光をテーマに特集を組みました。コロナ禍における新潟県内の観光の現状や，地域課題解決に向けた様々な取り組み, 教育実践など, 地域と観光にかかわる多角的な報告, 論考を掲載しています。また今回，越後湯沢の地で先駆的な観光事業を営む株式会社いせん代表取締役 井口智裕様へのインタビューと，新潟県十日町市の自然を生かした魅力的な着地型コンテンツを提供し続けている当間高原リゾート・ベルナティオの関係者様へのインタビューという 2 つの観光事業関係者へのインタビュー報告も掲載しました。いずれも地域に対する強い思いを有しつつも，そのかかわり方は対照的で，地域課題の解決に向けたこれからの観光を考える際して，大きなヒントを含むものです。

関係者の皆様におかれましては，領域を超えた新しいタイプの研究発信媒体として，また研究交流ならびに個々の研究のブラッシュアップの場として，今後も同誌を大いにご活用頂きますよう，引き続きよろしくお願い申し上げます。（編集委員一同）

創生ジャーナル Human and Society

2023 年 3 月 31 日発行

編集　創生ジャーナル Human and Society 編集委員会
発行　新潟大学キャリア創生研究会

表紙デザイン　安田 舞耶

ISSN 2434-284X